

よこはま動物園ズーラシア

クリスマスにテングザルの赤ちゃんが誕生！



12月25日生まれの赤ちゃんと母親
(12月27日撮影)

よこはま動物園では、令和3年12月25日(土)にテングザルの赤ちゃん(オス)が誕生しました。赤ちゃんの名前はインドネシア語で「クリスマス」という意味の「ナタル」と名付けました。母親のジャスミンは、初めての出産でしたが、非常に落ち着いた様子で赤ちゃんの世話をしています。赤ちゃんの公開は3月以降を予定しています。決定しましたらホームページ等でお知らせします。公開までの間は、ホームページ内のブログ「飼育日誌」で近況情報を紹介していく予定です。これからの赤ちゃんの成長を、見守ってください。

12月から2月の間は、健康管理のためテングザルは展示をお休みしております。赤ちゃんの撮影等はできませんが、掲載用の写真等を提供します。



指定管理者：(公財)横浜市緑の協会

お問合せ先

よこはま動物園 副園長 久保 良法 Tel 045-959-1298

■ 個体情報

父親	愛称：ゲンキ	平成 15 年 4 月 11 日生まれ
母親	愛称：ジャスミン	平成 28 年 5 月 11 日生まれ
子（オス）	愛称：ナタル	令和 3 年 12 月 25 日生まれ

■ テングザルについて

和 名	テングザル
英 名	Proboscis Monkey
学 名	<i>Nasalis larvatus</i>
分 類	霊長目 オナガザル科
分 布	ボルネオ島沿岸部
生 態	インドネシア、マレーシアに属するボルネオ島のみで生息するオナガザルの仲間。主な生息地は海沿いのマングローブ林や川沿いの湿地林で、一部は川沿いの上流部にも生息します。主なエサは木の葉、特に若葉を好みます。オトナのオスは大きな鼻が特徴で、食事の時には邪魔になるときもあり、時々片手で鼻を押し上げながら食べ物を口に運ぶこともあります。何のために大きいのかは正確には不明ですが、メスに対するセックスアピール、または大きな声を出すための共鳴器とも言われています。
ワシントン条約 (CITES)	附属書 I：絶滅のおそれのある種で取引による影響を受けている又は受けるおそれのあるもの
国際自然保護連合 (IUCN) レッドリスト	絶滅危惧種 (EN)：近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
当園飼育頭数	7 頭（オス 3 頭、メス 4 頭） ※今回生まれた子を含む
国内飼育園館	よこはま動物園ズーラシアのみ

■ よこはま動物園ズーラシアについて

- ◆ 入 園 料：大人 800 円、中人・高校生 300 円、小・中学生 200 円、小学生未満無料
毎週土曜日は高校生以下無料（要学生証等）
よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート 18 歳以上 2,000 円
- ◆ 開園時間：9:30～16:30（入園は 16:00 まで）
- ◆ 休 園 日：毎週火曜日（祝・休日の場合は開園し、翌日休園）12/29～1/1 ※臨時開園あり
- ◆ 交 通：相鉄線「鶴ヶ峰」「三ツ境」駅、JR 横浜線・横浜市営地下鉄「中山」駅から
「よこはま動物園」行きバスで約 15 分、「横浜」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 1 時間
- ◆ U R L：<https://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>
- ◆ 住 所：横浜市旭区上白根町 1175-1
- ◆ 問合せ先：045-959-1000

※よこはま動物園ズーラシアでは、ご来園の皆様へ下記の点について、お願いしております。

・発熱や咳等の症状のある方はご来園をお控えください。

その他詳細はホームページをご確認ください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、皆様のご理解とご協力をお願いします。